

## 平成20年度 茅渚関西連合 「緊急総会」 議事録報告書

1.日 時・・・平成20年11月16日(日) PM1:00~PM5:00
2.会 場・・・堺市出島漁港・堺市漁協事務所
3.出席クラブ・・・12クラブ、19名(順不同・敬称略)
◎ 神戸エリア(2名)・・・茅聖会(林) 神戸7防・黒鯛人(長田)
◎ 武庫川エリア(1名)・・・TEN-CLUB(渡辺)
◎ 北港エリア(6名)・・・北友会(山本、鳥羽、岸田) 大阪1091倶楽部(榎本) 落遊FC(木村、吉上)
◎ マルチエリア(5名)・・・潮友会(倉田、田中、沖、尾上、奥村)
◎ 南港エリア(3名)・・・波止友会(永野) 南茅会(武) 落南会(斉藤)
◎ 岸和田エリア(2名)・・・ 関西茅濤会(森川) 茅陽会(奥)
4. 欠席クラブ(12クラブ)
◎ 神戸エリア・・・TEAM FREE NINE
◎ 武庫川エリア・・・黒夢会 TEAM TOP GUN 落陽会
◎ 北港エリア・・・北港銀楽会 爆茅会
◎ 南港エリア・・・遊目印塾
◎ マルチエリア・・・Team 波止歩°っ歩°
◎ 岸和田エリア・・・泉州TFC V.F.C
◎ 泉州エリア・・・都友会 茅友会

### 5. 各クラブからの連絡事項

(落遊FC 木村会長) クラブ員の増員について

- ・新規会員1名(前川氏)

(黒鯛人 長田会長) 平成21年度大会について

- ・2009年3月15日 「神戸港落としみ選手権」10周年記念大会 の開催

### 6. 本題討論

#### (1) 「立入禁止問題」の経過報告及び今後の動き

① 大阪市港湾施設条例・案件「立入禁止区域の指定について」の経過報告 (配布文書)

② 日釣振、全釣り協、大釣り協合同会議 議事録 (配布文書) を読んで・・・

日釣振、全釣り協、大釣り協が中心となり、意見交換会、外部専門家会議(関連から倉田、長田がメンバーに入っている)の開催が予定されている。

③ 「解放区要望・解放禁止同意」エリア図(配布文書)を読んで・・・

「解放禁止同意」エリア図 配布資料から・・・

- 1 ヨットハーバー北（常吉防波堤北）・・・フェンスがあるが、釣りエリアと禁止エリアを明確にして欲しい
- 2 常吉大橋北端（ヘリポート）
- 3 舞洲・スポーツアイランド北側（西側は禁止エリアには不同意）
- 4 野鳥園西側・・・「野鳥保護の会」と全釣り協は、話し合いが出来る関係まで修復しているが、禁止の方向
- 5 平林貯木場（木材整理波除堤 中央の一字波止）
- 6 大和川河口北側（丸高渡船を除く全面）

**③の案にそって、関連も上部団体と足並みを揃えて、考えていく。**

**注意事項 ・ 立入禁止が条例化されれば、一切の立ち入りが禁止になる。**

質問 1・舞洲・スポーツアイランド北側の人工磯（舞洲北側～旧グレーン跡）は、解放禁止同意なのか？

回答 1 ・解放禁止同意の方向。

提案 1・大阪市として親水護岸として整備したのなら、立入 OK にする必要があるのでは？現状は、2、3月には、釣り人が多く、苔が生えていて滑りやすい。市民が親しむ親水エリアなら、釣り OK にし、解放していただけないか？

質問 2・此花大橋の下、鶴浜の護岸（IKEA 裏）は？

回答 2・グレーゾーン（不明瞭なエリア）。

質問 3・その後、大阪市以外に立入禁止問題は起こっているのか？

回答 3・先日、新潟県で立入禁止になっている防波堤に入って、高波にさらわれ、釣り人の死亡事故が発生し、行政が条例化しようとしている。大阪近郊では、新たな立入禁止問題はない。

質問 4・グレーゾーン（不明瞭なエリア）は、どうなっているのか？行政と③の案で譲歩出来ない場合は、グレーゾーン（不明瞭なエリア）を、第 2 次案として考えておいた方がいいのでは？

回答 4・今回の問題で、市民と行政が同じ土俵に立つ事ができ、話し合いの場を持つるのだから、グレーゾーン（不明瞭なエリア）も、何年かかっても押し進めていく。将来的な構想として釣りも、ライセンス制にしようと言う話しも持ち上がっている。

**要望・・・現状では、沖の防波堤を解放していける方向で考えて欲しい！**

#### 結論

- ・ 関連としては、「舞洲北側エリア（人口磯）を解放区要望」として提案する。
- ・ 第2次案の検討（グレーゾーン（不明瞭なエリア）を、今後の課題として検討する）
- ・ 沖波止（渡船エリア）の現状維持

### (2) 関連会費を使用して、チラシの作成、配布について（情報を知ってもらう活動）

今回は、関連会費を使わざるを得なかったが、他団体からの金銭的な援助が全く無い。そこで、丸高渡船から提案するのだが、関連だけが費用を負担している現状（チラシ1.1万枚印刷、130店舗メール便郵送、総額約3万円）から・・・  
「チャリティー釣り大会のようなものを開いて、関連にお金をキックバックすればいいのでは？」という提案があった。

質問1・なぜ、チラシに関連の名前を載せなかったのか？波止の問題なので、関連独自で行ってもいい活動ではなかったか？

回答1・時間がない状態でのスタートだったので、他団体には事後報告になってしまった。再度、協力金を要請したが、いい回答は得られなかった。関連の名前を出さなかったのは、関連のスタンドプレーにならないように考えた。

質問2・大釣り協に加盟して、関連として特典は、あるのか？

回答2・ボランティア活動が増えるだけだが、加盟していなければ、今回のように行政と話し合いが出来る立場にはなっていなかっただろう。また加盟していなくても、関連独自でも大きな活動は出来る。

提案1・他団体から協力金を得られなくても、関連会費を今回の立禁問題で使ったのは、関連独自の考えとして処理してもいいのでは？お金の問題ならば、次回の大会で集めればいいのでは？金集めは心情的に良くないので、募金箱をもう一つ作るのは、どうか？

#### 結論

- ・ 今回は、このまま受け入れておく。今後は、他団体にも出資してもらう事も検討し、要望を出していく方針とする。

### (3) 裁判所に出す嘆願書（大阪北港・落水死亡事故）について

弁護士の見解・・・「裁判所に嘆願書を出さないよりは、出す方が心証が良い」  
署名については、個人の自由である。

連絡・締め切りについて・・・12月10までに倉田の所へ郵送。

## 7 関連の現状

### (1) 連絡体制について・・・緊急連絡網が機能せず、末端まで情報が行き届いていないのでは？

提案 1・クラブ代表に、直接連絡すれば？最後の人がトップに連絡するのは、どうか？

回答 1・今後も緊急連絡網を活用するので、体制だけはもう一度確認しておいて欲しい。

クラブ単位での加盟なので、クラブ内での連絡が重要になってくる。

質問 2・緊急の文書での連絡方法は、どうなっているのか？

回答 2・電話、メールで送る場合、伝達の不備が生じるおそれがあるので、郵送方式をとっている。実際には、文章の作成に時間がかかり、タイムリーな情報としては、無理がある。関連 HP の「連絡事項」を活用してもらいたい。

### (2) 関連の組織形態・・・関連は基本概念として、各クラブの考えを最重視する団体である。現在理事は、各地区より 1 名選出する形をとり、ピラミッド型になっているので、より多くの会員が関連を動かしていけるよう、台形型に変えたい。そこで・・・

提案

- ・ 各地区より 1 名と限定しない、理事の選出
- ・ 代表のワンマン運営を廃止し、関連内の運営は理事会で行う。関連外の折衝は、引き続き代表が行う。
- ・ 顧問、相談役が機能していないので、廃止にする方向

#### ◎ 顧問と相談役について・・・

質問 1・顧問、相談役の活用・活動は、あるのか？

回答 1・全く無いのが現状である。

提案 2・過去の話しが出来る人物（関連初期の参加者）が必要である。倉田がどこかに居れば顧問、相談役が無くてもいいと思われる。第一期生（初めから居る人）を大切にしたい。

回答 2・今回は理事の集まりも悪く、次回、定期総会で決定したい。

#### ◎ 理事の選出・・・

提案 1・今までは、ボトムアップ方式で理事の選出を行ってきたが、一度トップダウン方式で選んでみては？

提案 2・倉田の意見を尊重し、組織形態（組閣）を行った方が良いのでは？

回答 1、2・以下、次期理事候補の選出は、倉田の推薦、参加者の自薦・他薦により行われた。次回、定期総会までに倉田が各理事候補に連絡し、確認を取る。最終決定は、定期総会で決定する。

<p><b>各エリア理事候補（案）（順不同・敬称略）</b></p> <p><b>南港エリア（3名）</b></p> <p>倉田（潮友会・現代表） 永野（波止友会・現理事） 武（南茅会・現理事）</p> <p><b>北港エリア（5名）</b></p> <p>鳥羽（北友会・現理事） 木村（落遊 FC） 岸田（北友会）</p> <p>北田（大阪 1091 倶楽部・現理事） 榎本（大阪 1091 倶楽部）</p> <p><b>岸和田・泉州エリア（3名）</b></p> <p>平田（茅友会・現理事） 森川（関西茅濤会） 奥（茅陽会・現相談役）</p> <p><b>神戸エリア（4名）</b></p> <p>畑（潮友会） 酒井（フリーナイン）</p> <p>長田（黒鯛人・現相談役） 平田氏（黒鯛人・現理事）</p> <p><b>武庫川エリア（1名）</b></p> <p>池田氏（落陽会） ※ 池田を中心に武庫川エリア所属クラブより 2,3 名選出</p>
---

## 8 事務局からの報告

### (1) 西本（現顧問）・・・顧問及び関連も退く意向（倉田と相談済）

現状 1・北友会・会員として、籍はある。

提案 1・できるならば、関連に戻ってきて欲しい。

回答 1・本人の意思を尊重した結論。

質問 2・先人が抜ける時に名前を抜いていくのは、いい組織とは言えないのでは？

提案 2・会員でなくても、名前を残す方法はないか？規約の改正？

提案 3・大会等の場合、こちらから招待状を出すようにしたら？

回答 2,3・参加者多数が賛成。倉田がもう一度連絡し、意向を伝える。退会者等の取り扱いで、規約の改正も含めて定期総会で決定する。

### (2) 泉州エリア「鱗友 FC」の脱会・・・ここ何年もクラブとして、活動していないので

## 8 交流会について・・・関連、BAA の共催でいいのでは？

現状は同等の出席率で、収支に関しても、当日の参加費のみの運営形態で行っている。人的ボランティアも同等で、コンディションが同じである。

提案 1・共催は、事故が発生した時に責任の所在が不明瞭であるので、どちらかが主催するやり方の方がいいのでは？年で持ち回りすれば良いのでは？（例 今年は関連、来年は BAA など）

<p><b>結論・各年で持ち回りにする。来年は、BAA に主催を依頼する</b></p>
--